

報道各位

2019年4月16日
住友商事株式会社
住商アーバン開発株式会社

千葉県松戸市 大型商業施設開発

施設名称を「Terrace Mall(テラスモール)松戸」に決定

湘南に続く、テラスモールシリーズの第2号案件
産学共同でキッズスペース、地元名店や新業態店舗など約180店舗
宿場町の歴史を持つベッドタウンに「サードプレイス」登場

住友商事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO:兵頭誠之、以下「住友商事」)と住商アーバン開発株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:高野稔彦、以下「住商アーバン開発」)(以下両社を総称して「住友商事グループ」)は、千葉県松戸市八ヶ崎二丁目において本年秋開業予定で推進中の大型商業施設開発「松戸北部市場開発プロジェクト」の施設名称を、「Terrace Mall(テラスモール)松戸」(以下「本施設」)に決定しました。

本施設は、シンガポールの政府系投資ファンドであるGICと共同開発により進めているもので、住友商事グループが神奈川県藤沢市にて開発した「テラスモール湘南(2011年開業)」に続く、テラスモールシリーズの第2号案件です。



グリーンのグラデーションで、自然と調和する松戸のまちの心地よさと、都会感、現代感の融合を表現しています。

「テラスモール松戸」ロゴ



エントランス(イメージ)

エリア初出店の店舗も登場

本施設は、国道6号線に近接した松戸北部市場跡地に位置し、敷地面積約49,000平方メートル(東京ドーム約1.1個分と同規模)、賃貸面積約42,000平方メートル(地上4階、一部5階建て)、総店舗数約180店と、松戸市を中心とした周辺エリア最大級*の商業施設となる予定です。「豊かに・楽しむ・毎日の暮らし」を開発コンセプトに、周辺エリアの方々のニーズに対応した幅広い店舗を展開します。大型の核店舗を各フロア両端に配置する「多核型サーキットモール」として回遊性を高め、共用部分の環境にこだわり、多様化・高度化するお客様のニーズに対応します。

核店舗として、アカチャンホンポ(マタニティ・ベビー・キッズ用品)、H&M(ファッション)、サミットストア(食品スーパー)、SPORTS AUTHORITY(スポーツ用品)、TSUTAYA BOOKSTORE(書籍、文具、カフェ) **エリア初**、東急スポーツオアシス(総合フィットネスクラブ) **エリア初**、ノジマ(家電)、無印良品(生活雑貨)、ユナイテッド・シネマ(シネマコンプレックス) **エリア初**、ユニクロ(ファッション)、ロフト(生活雑貨) **エリア初** などが出店します。その他、市場だった歴史を想起させるづくり、地元大学との産学連携の取り組み、地域名店の出店など、人々が行き交うまち松戸にふさわしいサードプレイス**を目指します。

※本資料に記載のイメージパースは変更になる場合があります。
※本資料に掲載しているのは2019年4月16日現在の情報であり、今後変更となる可能性があります。
※「サミットストア」「東急スポーツオアシス」「ユナイテッド・シネマ」の出店は、2018年7月2日付の報道資料で発表しております。

*このリリースでは、「(周辺)エリア」を本施設から5km圏内としています。
**サードプレイス…家庭や職場に次ぐ「第3の場所」

居心地の良い「サードプレイス」を創造

■共用部分の環境デザインコンセプトは「陽だまりの庭」

やわらかな光が差し込み、見た目も手触りも暖かな心地よい空間。宿場町の歴史を持ち、緑豊かなベッドタウンとして発展してきた松戸のまちに、ふらっと立寄り顔見知りの人と過ごす、毎日の暮らしに溶け込んだくつろぎの庭が誕生します。

<共用部> 施設中央に位置する吹き抜け空間



<フードコート> 陽の光が差し込むサンルームのような空間



<レストスペース> ゆったりと過ごしていただけるよう施設各所に配置



環境にこだわった特徴的なゾーンを演出

■オープンテラスが軒を連ねる、食で賑わうレストランストリート



変化に富む通路環境の中で、店舗とテラスが融合した路地のような空間をつくり、歩く楽しみを演出します。

昼は外部からの自然光が、夜は間接照明が落ち着いた空間に仕立て、昼と夜の表情が変化します。

■市場の記憶を継承した、賑わいあふれる食物販ゾーン



半世紀ものあいだ親しまれてきた「松戸北部市場」の跡地ならではの、市場の雰囲気の中に、大型スーパー、生鮮三品、デリ、スイーツ、グロサリーを集積し、日常使いからこだわり、トレンドまで幅広く揃え、賑わいのあるまちの市場を演出します。



「新しい松戸」の商業施設を地域と共創

■松戸市にキャンパスがあり、保育者養成で著名な聖徳大学とキッズスペースを共同開発



ディスカッション中の聖徳大学の学生

松戸市は「やさシティ、まつど。」を掲げ、「共働きが子育てしやすい街」として注目を集めています。2017年4月には「2年連続待機児童ゼロ(国基準)」を達成しました。

子育ての街・松戸ならではの産学連携で共同開発した、キッズスペースが誕生します。聖徳大学の学生と学術的な視点を取り入れ、コンセプトから使われ方で検討を重ね、松戸ならではのキッズスペースが登場します。

■日本一のつけ麺店とも称される「中華蕎麦 とみ田」の新規店舗 「テラスモール松戸」でしか食べられないオリジナルメニュー登場予定



「中華蕎麦 とみ田」
店主 富田 治氏

日本一のつけ麺店とも称され、国内外多くの人に支持されている「中華蕎麦 とみ田」の新規店舗が、本施設のフードコートに登場します。

「中華蕎麦 とみ田」は、2006年松戸に1号店をオープン。店主の富田氏自ら全国に足を運び選びぬいた食材を用いて、ラーメンを日本の食文化として多くの人に伝えていくべく、今も店頭に立っています。幅広い世代の松戸市民から愛され、国内遠方や海外からのファンも多数。松戸が誇る食文化に発展しています。

今回の店舗は、ファミリーを中心に幅広いお客様が楽しめる新規店舗で展開します。

■松戸市民の声をお菓子に。遠方からのファンも多い、地元名店が出店

SC 初



「pâtisserie ma-sa」
オーナーパティシエ 菅家(かんけ) 夫妻

甘さを控えたケーキや焼き菓子、お客様のご要望に応えるオーダーメイドのケーキなどで、松戸市で13年間愛されている人気洋菓子店「pâtisserie ma-sa (パティスリーマーサ)」の2号店「ma-sa de plus(マーサ ドゥ プリュス)」が、本施設に登場します。

地元のお客様のリクエストから生まれた、松戸市観光協会推奨品の「極上かすてら」や、松戸土産に最適な「マツドーナツ」「松戸っ栗」などユニークなネーミングのお菓子を揃え、都内や他県からの常連のお客様も多い人気店です。

「ma-sa de plus」では、開発中のオリジナル商品をはじめ、お菓子づくりを通じてさらに多くの方にワクワク感のある商品をお届けします。

■松戸が創業の地、「マツモトキヨシ」も出店



株式会社マツモトキヨシは、1932年松戸市小金に、社名にもなっている「松本清」が個人経営の「松本薬舗」を開いたことから始まりました。

1951年には、店名を「薬局マツモトキヨシ」に改称し、現在の店名が誕生しました。「よりよい品をよりやすく」と「親切なお店」をモットーとして地元で長年愛され、身近な存在のドラッグストアとして、本施設にも登場します。

多様なライフスタイルに応える多核型モールを展開

大型核店舗を各フロアの両端に配置。幅広い大型店、専門店を揃えます。

■主要核店舗(一部、五十音順)

アカチャンホンポ (マタニティ・ベビー・キッズ用品)

マタニティ・ベビー・キッズ用品店の「アカチャンホンポ」は、お客さま一人ひとりの気持ちに寄り添い、出産・子育てをもっとスマイルにするための商品やサービスをご提供します。



H&M (ファッション)

赤ちゃんからシニアの方々まで、ご家族の皆さんに、ファッションと品質を最良の価格で、かつ持続可能な方法で、提供します。ベーシックなものからトレンドの最先端まで、ご自身のスタイリングに役立つものが揃います。



サミットストア (食品スーパー)

新鮮な食材に加え、店内製造の美味しい出来たて商品を豊富に取り揃えます。「鮮度感」「ライブ感」を感じる店づくりや心の通い合うサービス、便利な「サミットアプリ」など、毎日のお買物が楽しくワクワクするお店を目指します。



SPORTS AUTHORITY (スポーツ用品)

「ノースフェイス」をはじめとした人気ブランドアイテムを取り揃え、ライフスタイルシーンで活躍するスポーツカジュアルアイテムを多数展開します。スポーツ×ファッションのセレクトショップ、「CORNERS」を併設し、性別、年齢問わず、幅広いお客さまにスポーツを取り入れたカジュアルファッションをご提案します。



TSUTAYA BOOKSTORE (書籍、文具、カフェ)

エリア初

ライフスタイルを提案する“書店”。コーヒーを片手に購入前の本を選べる「BOOK & CAFE」スタイルで、自宅のリビングのような居心地の良い空間をご提供いたします。



東急スポーツオアシス (総合フィットネスクラブ)

エリア初

「ここに来ると元気になれる、ここに来ると仲間に会える」をコンセプトに、スイミングプール、トレーニングジム、スタジオ、スパを備えた、お子さまからシニアまで楽しんで頂ける大型総合フィットネスクラブです。



ノジマ (家電)

「一番」早く、「一番」親切に、「一番」分かりやすく、お客様に便利さ・快適さ・楽しさをお届けします。



無印良品 (生活雑貨)

着心地の良いウェアや、素材にこだわった食品、そして使い勝手を考えたシンプルで機能的なステーションナリーや家具まで、暮らしまわりのすべてが揃います。



ユナイテッド・シネマ (シネマコンプレックス)

エリア初

松戸市に約 5 年ぶりの映画館！地域唯一のシネマコンプレックス全 11 スクリーン、約 1,900 席を誇る規模で展開します。最新鋭機器の導入により、迫力ある最高の映像と音響をお楽しみいただける、これまでにない臨場感と最高の映画鑑賞体験を演出します。



ユニクロ (ファッション)

いつでも、どこでも、だれでも着られる高品質なベーシックカジュアルウェアを低価格で販売。ユニセックス、ウィメンズ、キッズ、ベビーのラインナップを豊富に揃えています。



ロフト (生活雑貨)

エリア初

コスメほか美容・健康雑貨、ステーショナリー、バラエティグッズ、家庭用品などライフスタイルニーズの高いアイテムに加え、季節を感じる雑貨やプチギフトなどを取り揃え、わくわくする“旬”の雑貨を提案します。



■「テラスモール松戸」施設概要



- ・ 所在 千葉県松戸市八ヶ崎二丁目 8 番地 1 他
- ・ 敷地面積 約 49,000 m²
- ・ 賃貸面積 約 42,000 m²
- ・ 総店舗数 約 180 店
- ・ 駐車場 約 2,000 台
- ・ 駐輪場 約 1,000 台
- ・ 建物規模 地上 4 階建て(一部 5 階建て)
- ・ 開業年月 2019 年秋(予定)
- ・ 事業者代表 住友商事株式会社
- ・ 運営受託 住商アーバン開発株式会社

階	内容	主要核店舗(2019 年 4 月 16 日発表分)
4F	エリア唯一の大型シネマコンプレックス	ユナイテッド・シネマ(3・4F)
3F	みんなが時間を忘れてモノ・コトを楽しめる、 家族みんなの暮らしスタイル (ファミリースタイル／ベビーキッズスタイル／ライフデザイン／フードコート)	アカチャンホンポ、 SPORTS AUTHORITY、 ノジマ
2F	センスを刺激する、自分好みのトレンドスタイル (トレンドカジュアルスタイル／コンフォートリアルスタイル／カジュアルダイニング)	H&M、 TSUTAYA BOOKSTORE、 ユニクロ
1F	地域 No.1 の規模の食品ゾーンを核とした高頻度来館サポート (ウェルカムプロムナード／コンフォートライフ／食品ゾーン)	サミットストア、 東急スポーツオアシス(1・2F)、 無印良品、 ロフト

(各フロア五十音順)

＜ご参考＞

「テラスモール」とは



住友商事グループの商業施設開発には、開発理念「豊かなまちづくりへの貢献」・開発の方向性「まちづくり型商業開発」・開発運営のスタンス「地域メイドの開発」があります。これらに基づき、開発の考え方「テラスの思想」を掲げています。多様化する価値に対応する新しいタイプのショッピングセンターにとって重要なことは、楽しく、快適で、何度でも来たくなる、テラス空間に象徴される「居心地の良さ」だと考え、これを「テラスの思想」と呼んでいます。これらを踏まえ「テラスモール」を開発しています。

第1号案件は、神奈川県藤沢市にて開発した「テラスモール湘南」です。「テラスモール湘南」は、第6回日本SC大賞・金賞を受賞いたしました。

松戸と住友商事グループの商業施設事業



松戸駅前の商業施設「プラーレ松戸(千葉県松戸市松戸 1149-1)」(1980年開業)は住友商事グループが開発運営する商業施設です。

住友商事グループの商業施設事業は、約40年にわたり松戸と共に成長してきました。

宿場町として古くから交差の場だった松戸



幕府が水戸街道を整備し、宿場町として発展した松戸。水戸藩最後の藩主・徳川昭武が建てた戸定邸も有名

松戸に人が住み始めたのは約3万年前、旧石器時代です。時を経て平安時代には、今の市川市国分付近に下総(しもうさ)国の国府が置かれ、ここから常陸(ひたち)へ向かう官道が松戸に通っていました。江戸幕府が水戸街道を整備すると、松戸と小金は宿場町として繁栄します。現在の松戸神社の辺りには、大名の宿泊施設である本陣や脇本陣、一般人の宿である旅籠が軒を並べていました。江戸川沿いには河岸「河の港」ができ、銚子方面でとれた鮮魚を江戸まで運ぶ中継基地として発展しました(出典:(一社)松戸市観光協会HP)。

松戸市民と共に歩んできた北部市場の記憶



松戸北部市場は、急増する周辺の消費人口に対して青果を安定的に流通させることを目的として1969年(昭和44年)4月に開設されました。当時の松戸市政要覧(1969年)によれば、「流通機構整備改善を計画し、市内に散在する青果市場を総合大型市場として全国産地からの直送による集荷体制を確立し青果物の受給・供給を円滑にすると共に公正な価格によって消費者、生活者を保護し、市民生活の安定に寄与いたすため設置いたしましたものである」とあります。以来、青果を中心に松戸エリアの食糧流通の重要拠点として松戸周辺エリアの食卓を支えてきましたが、地域のニーズに合わせて、2017年3月末に市場を閉鎖し商業施設開発に至りました。

住友商事のマテリアリティ(重要課題)

住友商事グループは『社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ(重要課題)』を、事業戦略の策定や個々のビジネスの意思決定プロセスにおける重要な要素と位置付け、事業活動を通じて課題を解決することで持続的な成長を図っていきます。本事業は、特に「地域と産業の発展への貢献」、「快適で心躍る暮らしの基盤づくり」に資する事業です。

6つのマテリアリティ	
	地球環境との共生 循環型社会の形成と気候変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。
	地域と産業の発展への貢献 さまざまな国や地域の人々のニーズに応じてモノやサービスを安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献することで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。
	快適で心躍る暮らしの基盤づくり 毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人の心と体の健康を支えます。
	多様なアクセスの構築 人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。
	人材育成とダイバーシティの推進 多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組みます。
	ガバナンスの充実 透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率性を向上し、健全性を維持します。